

春を告げる花。爽やかな草姿も魅力。

< 植物名 >

マーガレット

白

水やり

基本的には乾燥気味を好む。

置き場所

日向を好む。雨がなるべく当たらない場所で管理する。

用土肥料

元肥と、10月と2月頃の追肥に、緩効性化成肥料を施す。

植え替え

特記事項なし。

ふやし方

春には挿し木で。

冬越し

冬越しには-3 以上必要。

使い方 鉢植え、庭植え、混植花壇、コンテナ緑化など

学名 Argyranthemum

英名

属名 アルギランテムム

科名 キク

性状(分類) 常緑多年草または低木

原産地 カナリー諸島

花の色 白

開花期 4月～6月

購入時期

草丈 20～120cm

ID 381

季節 春 夏

JFコード 48579



冬越しと置き場所

日向を好む。水はけが良く、腐植質に富んだ土壌を好む為、培養土に川砂などを2割位混ぜて植える。過湿が苦手な為、梅雨時などは雨がなるべく当たらない場所で管理する。冬越しには-3 以上必要。

その他の解説

元肥と秋と冬の追肥に緩効性化成肥料を施す。萎凋病や青枯病の発生を防ぐ為に、土壌消毒をする。基本的には乾燥気味を好むが、夏に乾燥し過ぎて弱ってしまうことがあるため、敷わらなどをして乾燥を防ぐ。

特徴1

乾燥に強く育てやすいマーガレット。花色や花形も豊富。基本的には乾燥気味を好む。

特徴2

爽やかな草姿と、乾燥に強く育てやすいのが魅力。品種も豊富で一般的な白花の他に、黄色や淡いピンクの花、一重・八重・丁字・小輪・大輪咲きなどがある。和名のモクシュンギクは、シュンギクに似ていることからつけられたそう。霜の降りない地方では、茎が木質化して大株になり、露地に植えたままでも冬を越すことができる。